来て！見て！図書館（としょかん）

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

8月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)
9月2日(月)・3日(火)・9日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●

佐間3―24―7（「みらい」内）
TEL：556―4227
FAX：555―3770

第11回行田市立図書館を使った調べる学習コンクール

日頃感じる分からないことや不思議に思うことを図書館の本を使って調べ、分かったことを作品にしてみませんか。図書館では参加作品を募集しています。

▶**募集期間**　8月1日(木)～9月13日(金)
▶**応募作品**　市立図書館の本などを活用し「調べた情報をまとめた作品」や「夏休みの自由研究作品」
▶**応募資格**　市内在住の小学生
▶**応募方法**　市内に通学している方は学校に、市外に通学している方は図書館に提出してください。
▶**その他**　上位の作品（優良賞）は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの三次審査に推薦されます。

調べる学習の相談日

コンクールに応募したいけれど初めてで不安な方など、調べる学習に関するサポートをします。

▶**日時**　8月2日(金)・16日(金)　午前10時～午後4時
▶**場所**　図書館内
▶**対象**　市内在住の小学生（保護者同伴可）
▶**その他**　事前に図書館に電話してください。

大人のためのミニ朗読会「夏」

▶**日時**　8月18日(日)午後1時30分～2時30分（午後1時から開場）
▶**場所**　中央公民館第1学習室
▶**内容**
- 「帰郷」より『異邦人』大佛次郎／著 毎日新聞社
- 「恩讐の彼方に」より『形』菊池寛／著 埼玉福祉会

他2作品を朗読します。

▶**定員**　70人（先着順）
▶**協力**　行田朗読の会
▶**その他**　申し込み不要です。

今月のテーマ展示

<一般>第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書
<児童>映画の原作本を読んでみよう！
※特集は告知なく変更となる場合があります。

行田歴史系譜365

資料がかたる行田の歴史 65

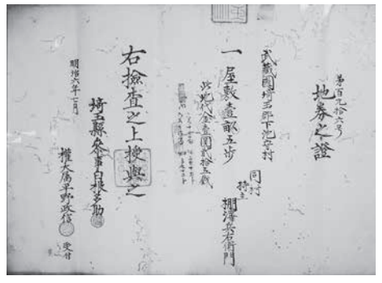
壬申（じんしん）地券と改正地券

明治維新で近代化を進める新政府は、税制と土地制度の改革に着手しました。目指したのは、税の金納と土地の所有権を明確にすることでした。明治4（1871）年、田畑永代売買禁止令が廃止されました。これまでも実質的に、借金の抵当となった土地が質流れしてしまうなどすでに形骸化していたのですが、ここで形式上も撤回され土地の所有権の移動が自由化されました。そして、土地に関するさまざまな情報を記載した地券を発行することとしました。このときの地券は、作成を命じた明治5（1872）年の干支をとって壬申地券と呼ばれています。

地券には土地の一筆ごとの地番、地目、面積、所有者、地価が記されています。埼玉県でも明治5年7月に全国の土地所有者全てに地券を発行するという大蔵省の布達を管内に流布し調査に取り掛かりましたが、作業はなかなか進まなかったようです。面積も実際に測量したわけではなく申告に基づき、地価も売買価格を参考にするなど、実情と離れたところもありました。それでも調査は、翌年5月にはほぼ終了し、地券の発行が行われました。写真は、下池守村の棚沢家に伝来した壬申地券です。下池守村では、村民42人に対して623通の壬申地券が発行されました。

明治6（1873）年7月、政府は抜本的な土地制度改革を行うため、地租改正法を公布しました。その内容は、土地の調査、測量を行った上で、一定の算定方式により新しく地価を算定し、土地の所有者には地券を発行すること、土地所有者から地価の100分の3の地租を金納で徴収することなどです。埼玉県で改正作業が本格化したのは、明治8（1875）年に入ってからです。地押丈量（じおしじょうりょう）と呼ばれる土地の測量が行われ、土地一筆ごとの地価が決められて、明治12（1879）年に改めて地券が発行されました。このときの地券を改正地券といいます。この改正事業により、地租に基づく課税が行われることになりました。

（郷土博物館　鈴木紀三雄）



壬申地券（郷土博物館蔵）

クローズアップ！！ぎょうだの会社を

株式会社 浦野建具

職人集団の伝統を引き継ぎながら快適な住まいづくりを

創業78年を迎え、襖や障子などの建具の製作・取り付けからリフォームまでを一貫して行う株式会社浦野建具を紹介します。

同社は、昭和22年4月に浦野建具店として創業。大工をはじめとした職人集団の持つ技術力を最大限に生かして地域の顧客の快適な住環境、住まいづくりに携わっています。市民の方なら一度は見たことのある「トントントンリフォーム」と書かれた看板のとおり、現在は住宅などのリフォームを中心に事業を展開しています。令和5年には事業拡大に伴いコタエルハウスのヤマギシグループに参入。不動産業なども手掛けています。

「トントントンリフォーム」というキャッチフレーズは、2階の事務所に居た女性社員が下から聞こえてきた大工の作業時の音から創作したとのこと。事業の主軸となっているリフォームは、これまでの建具の製作で培った職人たちの技術力を最大限に生かすことができるものです。大工工事や内装工事、電気設備工事などリフォームに関わる全ての工事を同社の職人だけで完結できる強みは、コストを抑えつつも工期を短くすることができ、他社との大きな違いとなっています。

また、同社は令和5年に特徴ある製品づくりや地域貢献活動などに取り組む工場として埼玉県から「彩の国工場」に指定されました。リフォーム業界の需要も高まり、同種の企業が多くある中で生き残っていくためには、これまで以上に顧客満足度の向上や選ばれる会社づくりを進めていくことが必要です。職人の高齢化も進む中、同社では社訓「だいじにします。永い信用」を守り続けていくため、伝統技術を継承しつつ、若手の育成にも力を入れています。

そして今後は、「複数の専門的技術を持つ『多能工』を育成しながら、限られた人材の中で組織全体の成果や業績を向上させていくことを目指している」とのこと。同社の職人集団という強みを生かしながら若手の職人が成長していくことで、最高の品質と最善のメンテナンスを提供し、これからも顧客のよりよい住まいづくりを担っていくことでしょう。

会社プロフィール

代表取締役　山岸　俊和

【事業内容】木製建具製造・取付、特注家具製造・取付、襖・障子・網戸張替え工事、外構・エクステリア製品取付、リフォーム、不動産業など

【所 在 地】矢場 2―10―1

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課（内線318）までお寄せください。

私の作品

俳句

城西　榊原しずか
お喋りな風鈴の舌少し切る

門井町　宮田　淑尚
露草やいずれ我が家も分譲地

小見　川島　盾子
新婚の表札二つ若葉風

持田　小倉　繁三
田んぼアート老若男女田を植うる

谷郷　吉野　六郎
田植終え基盤格子に照る朝日

忍　大澤　由子
絹団扇宵の灯かげに風ゆるむ

中央　舩津丸和夫
昨日までありし命に蛍哭く

下忍　荒井　王子
ふてくされ一日過ごす酷暑かな

藤原町　斎藤雄次郎
真っ新の祭り半纏二つ吊る

門井町　塚原　武夫
田水張り市松模様の展がりぬ

忍　伊藤　誠一
楽しみはラッパとバイク冷奴

谷郷　羽石　芳道
愛の巣の普請忙しき夏燕

長野　鎌田　昇
水打ちてデイサービスの迎え待つ

緑町　松林　真弓
路地裏に三味の音曲濃紫陽花

栄町　馬場　勇
梅雨空に似たる世界の政（まつり）かな

門井町　井上タカ子
山の宿眠れぬ吾に青葉木菟

天満　永島加寿子
田植待つ水田に遊ぶ月の影

城南　大藤　一郎
一人聞く望郷演歌梅雨の利根

（三沢　一水　選）

○**俳句応募方法**　一人3句以内。毎月末日（必着）までに、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。